湯田の風

令和３年４月１５日
湯田中学校だより　第２号

安心・安全な学校
全国に誇れる学校
地域とともにある学校

発行責任者　校長　末永　勝明

教育目標とめざす学校像

湯田中学校の学校教育目標は「ふるさとを愛し、自信をもって活躍できる生徒の育成」、そして、めざす学校像は「安心・安全な学校」「全国に誇れる学校」「地域とともにある学校」です。（裏面に本校の教育基本構想を載せています。）第１号でも「全国に誇れる学校」について触れたところですが、今回はさらに、「何で誇れるか」ということについてお伝えしたいと思います。

生徒が自分の学校に誇りをもつことができるようになれば、そのことで、生徒の学校への所属感が高まります。そして所属感の高まりは、生徒自身の自己存在感や自己有用感の高まりにつながります。結果として、中学校を卒業した後、次のステージで自信をもって活躍することができる生徒の育成につながります。また湯田中学校に誇りがもてる生徒を育てることは、ふるさとである湯田のまちにも誇りがもてる生徒を育てることになります。

体育館を退場するときに一礼する生徒

ところで、湯田中学校は何で全国に誇れる学校をめざすのでしょうか。めざす学校像として掲げているのですから、「〇〇はほかのどの学校にも負けない」というような具体が必要です。では湯田中学校がめざす「〇〇」とは何でしょうか。

たとえば、高等学校などを例にあげると、ときにその学校の売りとして、「学力がトップレベルの学校」とか、「部活動の強豪校」などという表現を耳にすることがあります。もちろん、「難関大学〇人合格」とか、あるいは部活動で「〇年連続全国大会出場」など、そのような目に見える部分で誇れることは喜ばしいことではあります。ですが、湯田中学校がめざす誇れる学校とは、そのような目に見える部分よりも、まずは数値や実績ではなかなか測ることが難しい部分で誇れる学校になることです。

湯田中学校にはチャレンジ目標として「み・そ・あ・じ」という合い言葉があります。

み　身だしなみ　　そ　掃除　　あ　あいさつ　　じ　時間と人権意識

まずは、これらのごく基本的な生活習慣において「誇れる学校」をめざしています。「湯田中ってすごいよね」と生徒が自分たちで自分の学校に自信がもてる、そして誇りをもつことができる、そのような学校をめざしていきます。

令和３年度 あらたなチャレンジ 「ノーチャイムの学校」

今年度、「じ」の「時間」に関わって、新たなチャレンジをします。それはノーチャイムの学校です。登校から総下校までチャイムを鳴らさず、生徒も教職員も時計をみて行動します。これまでは、週に１回、ノーチャイムの日を設けていましたが、今年度はすべての日をノーチャイムにします。時間を守ることは基本的生活習慣の中でもとても大切なことです。また、時間を守ることはまわりの人を大切にすることでもあります。自分で時間を守る意識を高めることは自己管理能力を高めることになり、自律した大人になるためにも身につけなければならない大切な力です。どうかこのあらたなチャレンジ、ノーチャイムの取組にご期待ください。